

トピックス Topics

毎月第4金曜日号でお伝えします



加藤校長の激励に真剣な眼差しでこたえる桜中生徒

真新しい校舎に胸躍らせ 桜中学校が開校

四月四日、二十校目の市立中学校となる桜中学校の開校式が行われました。

新しい歴史の始まりを告げる式典は、三年生の上野友莉さんの朗読で開幕。「明日へのプロローグ」という自作の詩で、新設校で学ぶ意欲と喜びを語りました。石川市長は「力強く歩み、校名のように、この学校も満開の花をつけることを願っています」と、お祝いのあいさつ。加藤豪之助校長は「この校舎に生命を吹き込むのはみなさんです」と激励しました。

桜中学校は、市内で最も生徒数が多かった城東中の過大規模を解消するために新設。桜小学校区域の子どもたちが通い、十、四学級、四百九十一人でスタート

トしました。三階建ての校舎はライトブルーのさわやかな外観で、内部には随所に木材が使われ、ぬくもりが伝わってきます。来年四月には、二十一校目となる御所野中が開校します。

外旭川市営住宅に デイサービスセンター



利用者も参加して開所のテープカット

外旭川市営住宅の敷地内に、外旭川老人デイサービスセンターが完成し、四月七日、開所式が行われました。

市内十一か所目の老人デイサービス施設の施設で、市営住宅の建て替えとあわせて整備するのは旭南に続き二館目です。

館内は、ゆつくりとくつろげる雰囲気、専用車いすで座ったまま入浴できる特別浴室も設けています。在宅で介護が必要なお年寄りを対象に、日中、施設で食事や入浴などのお世話をしているほか、来所が困難なたたかへの訪問入浴や訪問給食も行っています。

市では今年度もデイサービス事業の充実をはかっていて、四月から川口老人デイサービス

ンターでは朝と夕方の利用時間を延長しました。また十二月には浜田地区にも新しいセンターができる予定です。

秋田城跡に 新たなシンボル誕生

高清水の丘にある奈良・平安時代の地方官庁跡の秋田城跡で、四月十一日、外郭東門・築地塀の復元を記念する式典が開かれました。

地元寺内地区のみなさんをはじめ二百五十人ほどが集まった式典では、復元の整備指導委員を務めた岡田茂弘さんが高らかに開門を宣言。朱塗りの大きな門扉が厳かに開かれました。

さっそく門を通り抜けた参加者からは、「白と朱のコントラストがきれいだし、造りも立派で、このあたりのシンボルになる」と、喜びの感想が聞かれました。

その一角が当時のまま現代によみがえった秋田城。東門を復元した一帯は、平安の井戸や古代の沼も復元し、散策路も巡らした史跡公園となっています。どうぞ散策においでください。



昔の人もこのように完成を喜んだのかも知れません

新屋図書館が移転し 新装オープン



開館当日から多くのかたが訪れました

四月十七日、新しい新屋図書館が美術工芸短大の敷地内に開館しました。大学開放センター「アトリエもさだ」に隣接し、旧食糧倉庫も倉庫棟として活用しています。旧図書館に比べ約六・五倍も広く、蔵書も一万二千冊増え四万八千冊になりました。

開館後、小さなお子さんを連れてさっそく絵本を借りたお母さんは、「絵本コーナーは表紙を向けてあるのが、子どもでも選びやすいと思います。天井が高く開放感があつていいですね」と語ってくれました。館内には新屋地区の地場産業でもあるお酒の資料コーナーもありです。

畳を敷いたスペースもあり中庭が屋外読書スペースになるなど、くつろいだ雰囲気です。ゆつくりと本に親しむことができる工夫が随所に凝らされています。新しい図書館で読書の春を楽しんでください。

新しい市文化財に 仁王像と石碑を指定

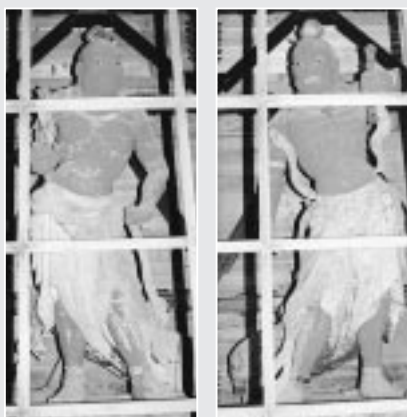
さきごろ市教育委員会は、「天徳寺仁王像」と「檀山登町の倉稲魂神碑(つかのみたまのかみひ)」を市指定文化財としました。

天徳寺仁王像は、泉三嶽根の天徳寺山門に置かれている木製の仏像です。高さ約三・二メートルの「阿形あぎょう」と「吽形うんぎょう」が山門の右と左に一体ずつ安置されています。寛政九年(一七九七)に、当代一の大仏師・七条左京が、九代秋田藩主・佐竹義和の依頼で造った県内でも数少ない仏像です。

倉稲魂神碑は、檀山登町の鹿嶋神社境内に弘化二年(一八四五)に建てられた石碑です。当時、檀山地区には旭川の船着き場があり、石碑は積み降ろし作業でこぼれ落ちた籾米を供養するために建てられました。当時の民間信仰を知るうえで、貴重な資料になります。



鹿嶋神社の倉稲魂神碑



天徳寺山門の阿形(右)と吽形(左)